

エコアクション21

環境経営レポート



2022年度版（対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日）

北海道スバル株式会社

2023年11月5日発行

【目次】

	ページ
【1】 組織の概要	2
【2】 対象範囲及び適用事業所一覧	3
【3】 EA21 推進組織図及び EMS 推進責任権限表	4
【4】 環境経営方針	5
【5】 2022 年度取り組み目標	6
【6】 2022 年度環境活動の実績と評価	8
【7】 環境関連法規及び違反・訴訟の有無	1 1
【8】 2023 年度の環境活動の目標	1 2
【9】 代表者による全体の評価および総括	1 7

【1】組織の概要

1. 北海道スバル株式会社の概要

会社名 : 北海道スバル株式会社
所在地 : 〒063-0062 北海道札幌市西区西町南 14 丁目 1 番 1 号
代表者 : 代表取締役社長 中村 亜人
担当者 : 環境管理責任者 管理本部長兼総務部長 品野 貴雄
: 環境管理副責任 総務部副部長 増子 徹
: EA21 推進事務局担当 総務部総務課担当課長 小野田 博之
佐藤 智也
中田 圭一

連絡先 : TEL 011-668-2122 / FAX 011-664-5602

U R L : <http://www.hokkaido-subaru.com/>

事業内容

1. 自動車、自動車関連部品及び付属品並びにそれらの関連物品の販売、修理、加工
2. 自動車のリース及びレンタル業
3. 中古自動車の売買及び修理
4. 油脂類の販売
5. 電気製品、各種レジヤ用品、事務機器、衣料品、文具及び雑貨等の各種物品の販売
6. 損害保険代理業及び自動車損害賠償責任保険代理業並びに生命保険募集業
7. 農業協同組合法（昭和22年法律第132号）に基づく共済代理店業
8. 不動産の賃貸及び管理
9. 前各号に附帯又は関連する一切の事業

事業規模

① 年間売上高（2022年度）	18,454,165千円
② 新車販売台数（2022年度）	3,482台
③ 中古車販売台数（2022年度）	2,523台
④ 従業員数（2023年3月現在）	470名 (パート・嘱託含む)
⑤ 店舗数	
・新車店舗	19店
・中古車店舗（専売店舗3）	7店
・钣金塗装（BP）工場	3店
・部品センター・納整センター	2店
合計	31店

【2】対象範囲及び適用事業所一覧

1. 対象範囲

- ・ 新車及び中古車の販売
- ・ 自動車の点検・整備・钣金塗装
- ・ 自動車部品・用品の販売
- ・ 損害保険代理店業務

2. 適用事業所一覧

	事業所名	住 所	電話番号	従業員数	組織区分
1	本社 (3F 事務所)	札幌市西区西町南 14 丁目 1 番 1 号	011-668-2111	65	A
2	札幌西店 B Pセンター本社	札幌市西区西町南 14 丁目 1 番 1 号	011-668-2210	48	E
3	羊ヶ丘通清田店 部品センター	札幌市清田区真栄 58 番 1	011-699-7180 011-699-7180	33	C+F
4	厚別店	札幌市厚別区厚別東 5 条 8 丁目 6 番 6 号	011-898-7171	17	C
5	カースポット厚別	札幌市厚別区厚別東 5 条 7 丁目 1 番 25 号	011-898-5775	4	B
6	札幌東店	札幌市東区東苗穂 4 条 3 丁目 2 番 92 号	011-783-5111	11	C
7	新千歳店 カースポット新千歳 新千歳 PDI 重整備セ ンター	千歳市北信濃 782 番 2	0123-25-8521 0123-25-8531	26	C
8	白石店 法人営業課 B Pセンター白石	札幌市白石区中央 1 条 1 丁目 1 番 25 号	011-818-3755 011-818-3755	30	E
9	月寒店	札幌市豊平区月寒中央通 11 丁目 1 番 10 号	011-852-4125	17	C
10	札幌北店	札幌市東区北 35 条東 1 丁目 5 番 1 号	011-721-5040	24	C
11	札幌南店	札幌市中央区南 30 条西 10 丁目 2 番 22 号	011-211-5516	19	C
12	小樽店	小樽市入船 2 丁目 1 番 3 号	0134-29-1565	14	C
13	岩見沢店	岩見沢市大和 2 条 7 丁目 6 番地	0126-22-0526	14	C
14	G - P A R K 札幌 業販課	札幌市西区西町北 15 丁目 1 番 15 号	011-669-4555	8	B
15	室蘭店	室蘭市寿町 3 丁目 20 番 4 号	0143-44-5111	17	C
16	苫小牧店	苫小牧市明野新町 2 丁目 2 番 12 号	0144-55-4572	21	C
17	函館北浜店 B Pセンター北浜	函館市北浜町 4 番 20 号	0138-40-1010 0138-40-1116	24	E
18	函館神商店	函館市中道 2 丁目 53 番 7 号	0138-53-6894	11	C
19	旭川北彩都店	旭川市宮前 1 条 2 丁目 5 番 5 号	0166-76-1955	29	C
20	名寄店	名寄市字徳田 114 番地 27	01654-2-2493	6	C
21	北見店	北見市小泉 426 番地 4	0157-24-8911	15	C
22	滝川店	滝川市黄金町東 3 丁目 2 番 4 号	0125-24-6171	10	C
23	G - P A R K 旭川	旭川市永山 2 条 12 丁目 1 番 16 号	0166-40-0000	11	C

注) 1. 組織区分の意味

A = オフィス業務 (事務所業務)

B = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車)

C = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 整備業務

D = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 钣金塗装業務

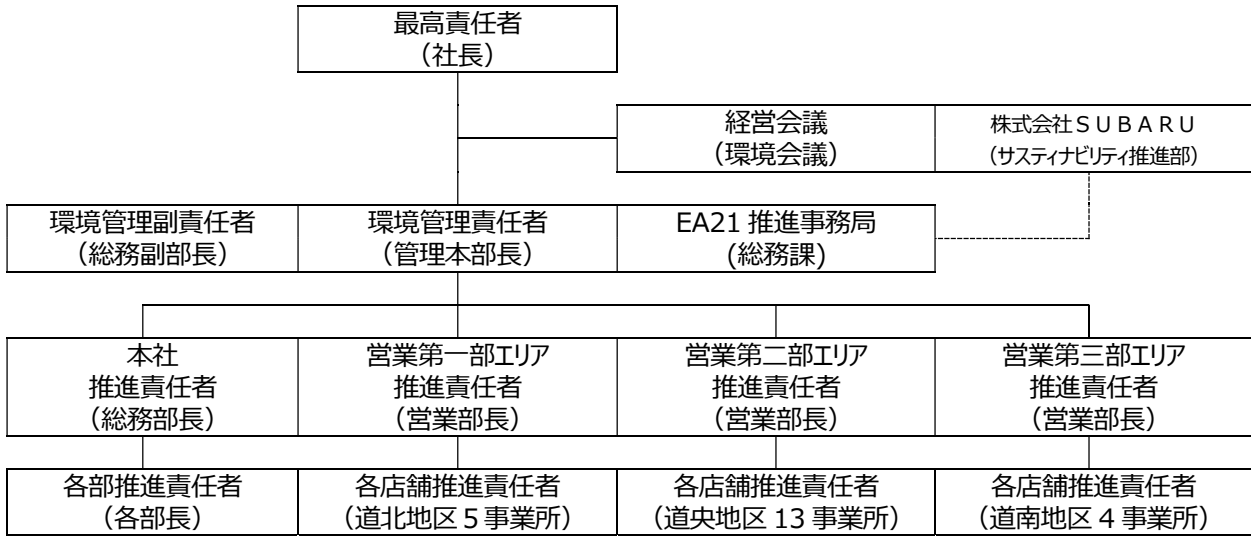
E = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 整備業務 + 钣金塗装業務

F = オフィス業務 + 物流販売業務

2. 従業員数は 2023 年 4 月 1 日現在

【3】 E A 2 1 推進組織図及び E M S 推進責任権限表

● EA21 推進組織図



● E M S 推進責任権限表

担当者	役割・責任及び権限
最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を定める。また必要に応じ見直す ・EMS の見直し (マネジメントレビュー) を行う ・要員 (人材)、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する ・環境管理責任者を任命する
環境管理責任者 環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・本業の業務とは関わりなく、E M S を確立・実施・維持する責任と権限を有する ・環境方針に沿って全社環境目標 (中期と当該年度) を策定する ・「環境関連法規制等一覧表」を作成し、最新状態を維持する ・環境マニュアル、手順書、帳票等の文書を維持管理する ・緊急事態の訓練を計画し、実施する (部門の実施を推進する) ・環境に関する行政機関対応の責任者 (法規制対応も含む) ・マネジメントレビューの報告情報を取り纏め報告する
EA21 推進事務局 ※「事務局」と呼称・表記する。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、EMS の確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行う ・環境マニュアル・手順書・帳票等の見直し、最新版管理 ・各部門との調整、情報の伝達 ・全社 EMS の進捗管理、審査対応窓口 (外部との調整を含む) ・マネジメントレビューの情報収集・整理 ・EMS の推進にかかわる内部外部との連絡窓口
各エリア推進責任者 ※「エリア責任者」と呼称・表記する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各エリア (EA21 の 1 ~ 3 エリア) 内部を統率し環境活動を指揮する
各部・各店舗推進責任者 ※「推進責任者」と呼称・表記する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各部・各店舗の環境活動を推進する
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境方針・環境目標・環境活動実施計画書に基づいて、日常の環境活動に取り組む
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの有効性や、環境活動が適正に運用されているかを検証する

【4】環境経営方針

《基本理念》

私たちの住むまちは、雄大な北海道の自然豊かな環境にあり次世代まで続くよう車両や関連部品の販売、車両整備等の事業活動を行い、環境保全に貢献するとともに地球環境負荷の低減に積極的に取り組めます。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進し、継続的改善を図ります。

1. 我々が関わる自動車産業は、環境への負荷が大きいとの認識に立ち、本業にリンクした具体的な環境活動として、アイサイト装着車販売、エコカー販売、車検カバー率、点検在庫率、エコタイヤ販売、などを推進します。
2. 店舗の建て替えやリニューアルも積極的に行い、お客様が来店しやすい環境づくり、従業員が働きやすい店舗づくりを行うと同時に、環境配慮商品とサービスの充実を通じて、経営理念「安心と愉しさを社会に提供する」の実現を目指します。
3. 行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。
4. 廃棄物の削減及びリサイクルを促進し、省資源・省エネルギー化を図り、またそれら環境に配慮した事業活動に取り組むことで地球温暖化、資源枯渇、環境汚染の低減及び環境保護に努めます。
5. 当社の事業活動を継続する上で、発生しうる納期遅延・クレームに起因するエネルギーロスの削減を推進します。
6. 全従業員に対し、この環境経営方針を周知し、環境意識向上のため、啓蒙活動を継続的に行います。

2021年9月1日
北海道スバル株式会社
代表取締役社長 中村 亜人

【5】2022年度の環境活動の目標

1. 環境経営方針に沿った取り組みを実施する。

環境経営方針の各項目の具体的な取り組みは以下の通りです。

(1) 我々が関わる自動車産業は、環境への負荷が大きいとの認識に立ち、本業にリンクした具体的な環境活動として、アイサイト装着車販売、エコカー販売、車検カバー率、点検在庫率、エコタイヤ販売、などを推進します。

(2) 店舗の建て替えやリニューアルも積極的に行い、お客様が来店しやすい環境づくり、従業員が働きやすい店舗づくりを行うと同時に、環境配慮商品とサービスの充実を通じて、経営理念「安心とゆしさを社会に提供する」の実現を目指します。

(3) 行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。

(4) 廃棄物の削減及びリサイクルを促進し、省資源・省エネルギー化を図り、またそれら環境に配慮した事業活動に取り組むことで地球温暖化、資源枯渇、環境汚染の低減及び環境保行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。

(5) 当社の事業活動を継続する上で、発生しうる納期遅延・クレームに起因するエネルギーロスの削減を推進します。

(6) 全従業員に対し、この環境経営方針を周知し、環境意識向上のため、啓蒙活動を継続的に行います。

2. 数値目標を達成するための取組項目

- ① 電気使用量削減
- ② 燃料使用量削減
- ③ 水使用量削減
- ④ 廃棄物量削減
- ⑤ 紙使用量削減

3. 各店舗の独自の取組

年度の初めに各店舗毎にエコアクションに関連する独自の取組を決めています。

【6】 2022 年度環境活動の実績と評価

1. 全体的な数値実績 (2022 年 4 月から 2023 年 3 月)

項目	単位	2022 年度目標・実績			
		目標	年間目標	実績	削減目標達成率
電気使用量	kWh		2,014,870	2,089,733	96.4%
燃料	ガソリン	L	331,622	241,812	137.0%
	灯油	L	148,844	156,310	95.2%
	軽油	L	108,312	99,159	109.2%
	LPG	kg	49,960	46,156	108.2%
	都市ガス	m ³	421,156	403,503	104.4%
二酸化炭素排出量※1	Kg-CO ₂	各種エネルギー、廃棄物等の前年度実績に対し1%減を目標とする	3,639,920	3,415,797	106.6%
水使用量	m ³		16,034	15,424	104.0%
廃棄物排出量(産廃及び一廃)※2	t		1,040	1,064	97.8%
紙(北°紙)使用量	kg		18,030	18,512	97.4%
化学物質使用量※3	PRTR 法に該当する製品とその使用量を把握する				
環境関連法の遵守	各種環境法規制の遵守、必要な届出・報告の実施など				
社会貢献 環境保全活動の推進	会社敷地周辺及び道路の定期的な清掃を実施				
環境教育の実施	教育計画に基づく、社員への環境教育の実施				
環境配慮商品の導入促進	事務用品の購入、OA 機器・設備入替等の際は環境配慮商品の優先導入を検討する				
環境負荷低減のみ 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> * アイサイト (スマートアシスト) 装着車の拡販 * ハイブリッド車(e-Boxer)の拡販 * 点検パック付保車の 100%入庫 				

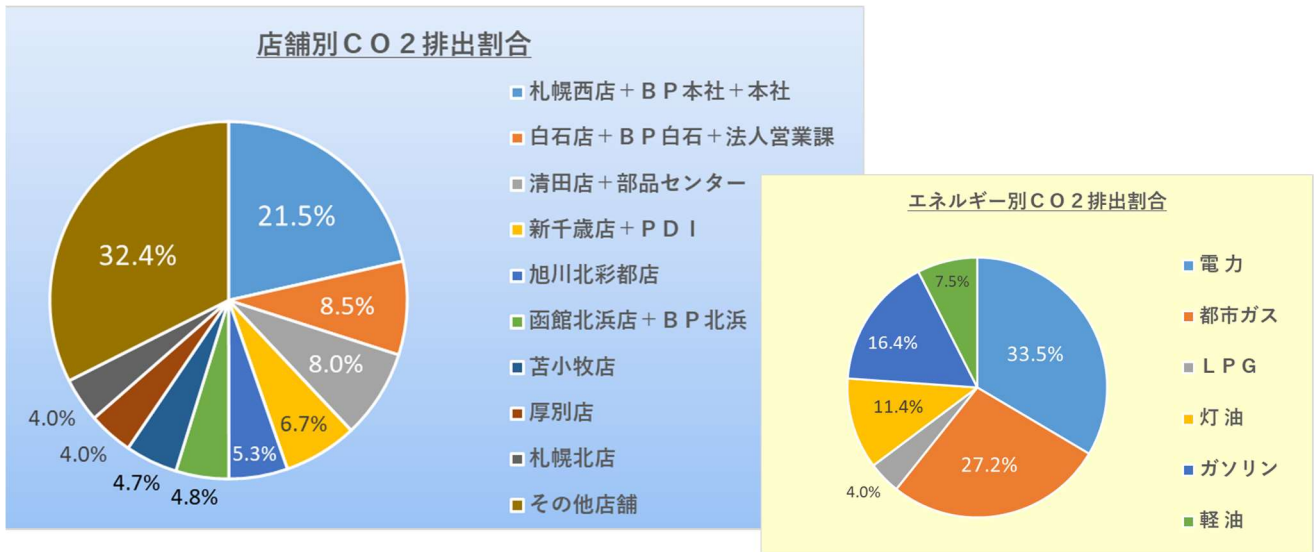
※1 電気使用による二酸化炭素排出係数は 0.549kg-CO₂/kWh(北海道電力/2021 年度)を使用

※2 廃棄物排出量は 2019 年実績より有価物の排出量も含む

※3 化学物質については、塗料は既に水性塗料 100%であり、事業環境上これ以上の削減が難しいことから、削減目標値の設定は行わず、使用量の把握と管理を継続して行うこととする

1. 項目ごとの結果と評価 (2022 年度)

(1) エネルギー



- ・2022 年度の CO2 排出量から各種エネルギーの占める割合を見ると、電力・都市ガス・プロパンガス・灯油による事業活動に伴う CO2 排出量が全体の約 76%を占め、残りは自動車の使用による CO2 の排出となっています。
- ・同様に店舗別に CO2 排出量を見ると、本社(札幌西店・BP センター・本社事務所)が 21.5%と最も大きく、次いで白石店・BP センター白石・法人営業課、羊ヶ丘通清田店・部品センター、新千歳店・新千歳 PDI 重整備センターと複合型店舗が続いており、これらの店舗で全体の約 45%を占めています。

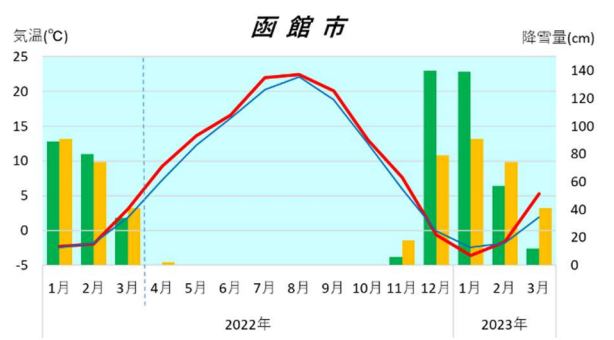
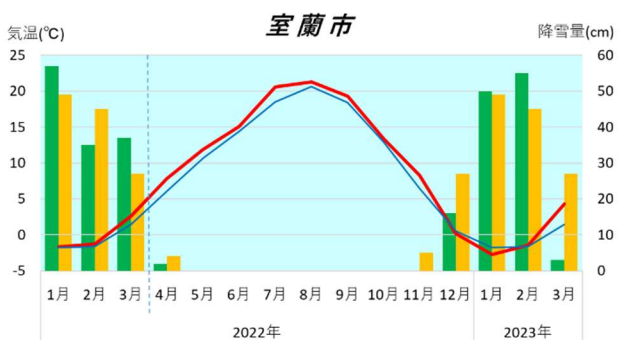
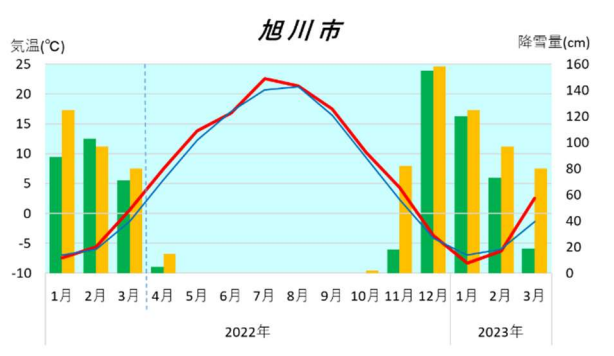
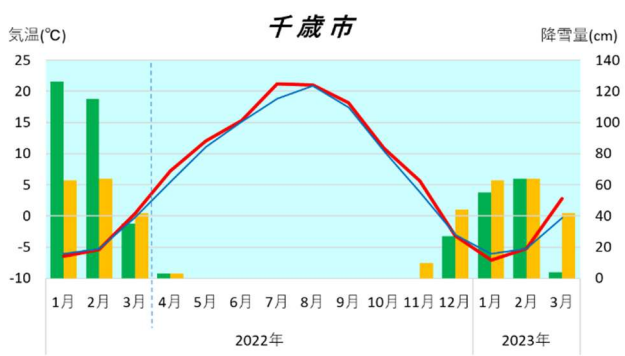
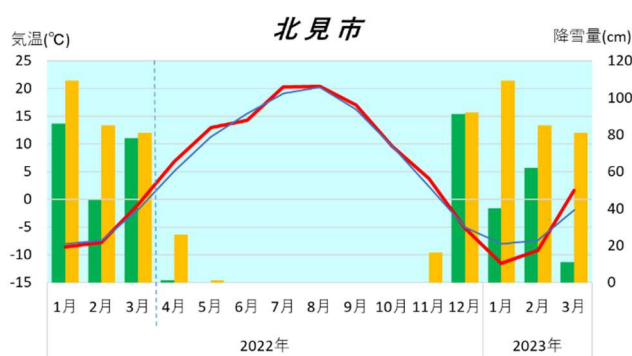
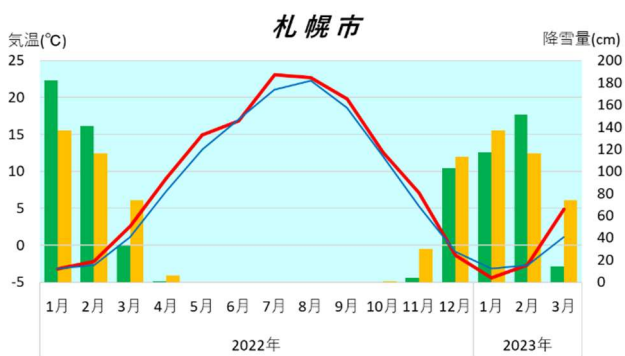
- ①電力は目標に対し未達となる結果となりました。前年実績より増加した店舗、減少した店舗が半々という状況ですが、増加が大きかった店舗を見るとサービスの在庫台数が増加しており、電気使用量に影響したものと思われます。また屋根の融雪装置の効果を検証、使用を見直すことにより電力使用量の削減に繋がった店舗もありました。
- ②都市ガスは削減目標を達成する事が出来ました。全体の 40%近くを占める札幌西店・BP センター本社・本社事務所の使用量が前年を大きく下回った事に加え、札幌北店・札幌南店・G-PARK 札幌、旭川北彩都店・室蘭店などの店舗が年間を通しコンスタントに削減した事が削減目標の達成に繋がったものと思われます。
- ③プロパンガスも削減目標をクリアする事ができました。プロパンガスは 5 店舗で使用しており、その内 3 店舗が空調(GHP)に使用。新千歳店・新千歳 PDI 重整備センターが全体の 53.4%を占め、その他はほぼ北見店、函館北浜店・BP センター北浜が占める構成となっています。残りの 2 店舗の内、岩見沢店は給湯に使用しており使用量は前年と同レベルとなっています。またカースポット厚別では駐車場の暖房に使用しており、こちらは冬期間(1～3月)のみの使用となっています。
- ④ガソリン使用量は昨年に引き続き、2022 年度も大幅に削減する事ができました。これにより CO2 排出量の削減目標の達成に繋がりました。来店型の店舗運営が定着した事に加え、店舗管理者による働き方を含めた適切なマネージメントが削減に寄与していると思われます。

⑤軽油は除雪作業用のホイールローダーおよび積載車で使用していますが、こちらも削減目標を達成しています。比較的、担当エリアが広い店舗での使用量が減少傾向にあるため来店型サービスが定着した事により積載車を使った引取・納車が減ったことが要因と思われます。

⑥灯油は目標を達成できませんでした。一部、給湯に使用している店舗もあるものの、BPセンターの塗装ブース、スチーム洗車機および冬期にサービス工場で使用するジェットヒーターの燃料として使用しています。板金・塗装作業に伴う塗装ブースの使用に加えジェットヒーターの使用が増えたのが要因と思われます。

⑦店舗別にみると22店舗の内、16店舗がCO2削減目標をクリアする事ができました。

・北海道スバルは十勝・釧路地方を除く北海道全域を対象エリアとしており、年間の気温・降雪量もさまざまです。2022年4月～2023年3月の間、特に7月の平均気温が各地で平年値より1.7～2.0℃上回るなど、夏期の気温は全道的に平年より高く推移していました。また冬期では1月に各地の気温が平年より低くなったものの、その後は2月から3月にかけて平年より高くなっています。同様に積雪について、札幌市は2月に平年を上回ったものの、その他の月は平年より少なくなっています。札幌市周辺の小樽市・岩見沢市・苫小牧市および函館市では12月から1月にかけて平年値より多くなっています。また道北方面の旭川市・北見市では降雪量が平年を下回る結果となりました。



(2) 水(投入量)、紙(コピー紙) 使用量および廃棄物

- ①水の投入量については、サービス入庫台数がほぼ前年並みにもかかわらず、全社合計で目標・前年実績を下回る事ができました。
- ②紙(コピー紙)はA4が目標比・前年比共に上回っているものの、A5は目標比・前年比共に下回る事が出来ました。産業廃棄物では金属くずが目標比・前年比を下回っていますが、廃プラスチックが目標比・前年比ともに上回る結果となりました。

3. 環境に関する主な取り組み

(ア) 環境関連法規の遵守

法令、法規制に対する違反はありませんでした。(次ページ【6】環境関連法規及び違反・訴訟の有無参照)

(イ) 社会貢献環境保全活動の推進

毎年「交通安全人の波運動」に参加しており、今後も継続して行きます。また店舗周辺の清掃も継続して行ってまいります。



(ウ) 環境教育の実施

例年通り、新入社員および中途入社社員を対象に導入教育を実施し致しました。また事務局スタッフを中心に「環境法オンライン研修」を受講。店舗管理者には「産業廃棄物適正管理能力検定(入門編)」を受講し参加者全員が合格致しました。また札幌西店と一部の店舗において「パケット」の使用方法をスタッフに説明、排水のpHを測定致しました。



(エ) 業務効率化による環境負荷低減

これまで通りセールス、サービスそれぞれの部門において社内資格の取得に向けた教育および技術講習を実施しております。また徐々に対面による研修も可能となりましたが、コロナ禍において定着したオンラインでの研修・ミーティングが環境・効率の面でも有効であるため引き続き活用を進めて行きます。



(オ) 内部監査の実施

2022 年度も監査室による内部監査を全店舗実施。産業廃棄物の標識の掲示状況と廃棄物の保管状況および油脂類の保管状況など確認致しました。

(カ) 設備の更新

2022 年 6 月、全店舗に EV 用充電設備の設置を完了。また設置から時間の経過した GHP の更新やサービス工場照明の LED 化を実施致しました。工場メカニックの健康を守るため、全店舗のサービス工場にスポットクーラーを配備致しました。



【7】 環境関連法規及び違反・訴訟の有無

1. 適用される主な環境法規等

主な適用法規	要求事項
水質汚濁防止法	特定施設（自動車自動洗浄装置）の届出
下水道法	排水設備（油水分離槽）の設置、 特定施設（自動車自動洗浄装置）の届出、 水質検査（油水分離槽）の実施
騒音規制法	特定施設（コンプレッサー）の届出、規制基準の遵守
振動規制法	特定施設（コンプレッサー）の届出、規制基準の遵守
廃棄物処理法	保管基準、委託基準の遵守、許可業者への処理委託、 適正な委託契約の実施、マニフェストの適正運用管理、 マニフェスト交付状況の年度報告、排出事業者による 最終処分場の現地確認

消防法	貯蔵数量の遵守、定期的消防設備点検・報告、防火管理者の選任、緊急事態対応訓練の実施
自動車リサイクル法	引取業者登録（更新）、使用済自動車の適正処理
家電リサイクル法	対象となる製品を排出する際は適切に引き渡し、料金を支払う
北海道及び市町村環境保全条例	騒音・振動に係る特定施設の届出（上乗せ基準）、事故（発生時）の届出、排出事業者による最終処分場の現地確認等
フロン排出抑制法	業務用エアコン等の点検

2. 違反、訴訟等の有無

当社における環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの重大な違反等の指摘は、過去3年間ありません。

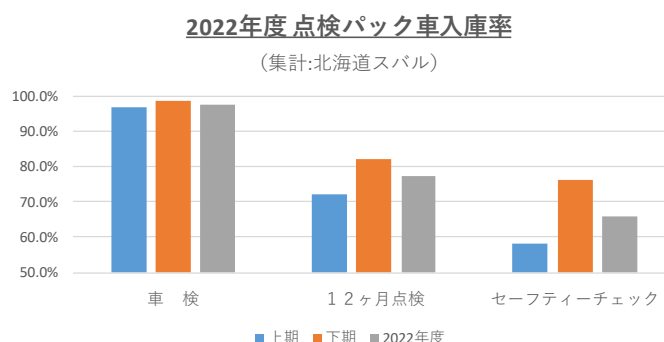
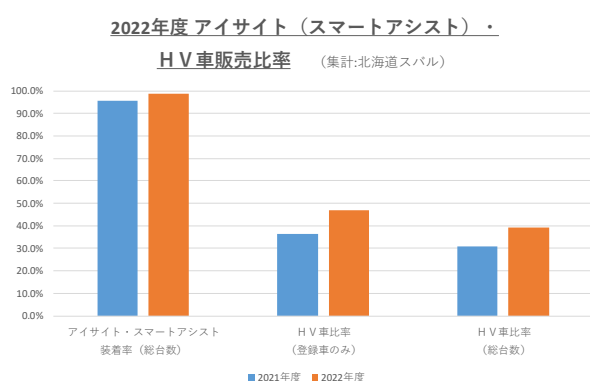
【8】2023年度の環境活動の目標

1. 環境経営方針に沿った取り組みの実施

2022年度の「環境経営方針」を継続しています。

(1) 我々が関わる自動車産業は、環境への負荷が大きいとの認識に立ち、本業にリンクした具体的な環境活動として、アイサイト装着車販売、エコカー販売、車検カバー率、点検入庫率、エコタイヤ販売、などを推進します。

- ・現在、スバル車ではBRZのMT車を除く全車種においてアイサイト（スマートアシスト）が標準装備されています。2022年5月よりEVのソルテラもラインアップに加わりHV車と合わせ拡販に努めて参ります。
- ・サービス部品部を中心に車検・点検等の入庫を促進し、スバルファンの増加に繋がっていきます。またタイヤメーカーによる研修への参加と共に、車検・点検および春・秋のタイヤ交換シーズンにはエコタイヤの提案・販売に繋がってまいります。



(2) 店舗の建て替えやリニューアルも積極的に行い、お客様が来店しやすい環境づくり、従業員が働きやすい店舗づくりを行うと同時に、環境配慮商品とサービスの充実を通じて、経営理念「安心とゆしさを社会に提供する」の実現を目指します。

- ・これまで以上にお客様の声を大切にし、来店して喜んで頂けるお店作りやイベントの企画、安全で働きやすい職場環境に整える取組みを進めていきます。店舗設備の適切な保守・点検を行うとともに設備を更新する際は、環境性能の良い設備を選択する事で環境負荷の低減、経費の削減に繋がって行きたいと思えます。
- ・廃棄物の適切な分別・リサイクルに取組み環境負荷の低減に繋がりたいと思えます。
- ・「交通安全人の波運動」「チャレンジ・セーフティラリー北海道 2023」への参加、ライフセービング協会【交通死亡事故ゼロ×浜辺の死亡事故ゼロ】イベントへの協賛、道内各地域のイベント会場でのアイサイト装着車のプリクラッシュブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）体験試乗会の実施等を予定しています。

(3) 行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。

- ・環境関連法規の遵守
2023年度は「改正省エネ法」「プラスチック新法」「化管法」に改定がありました。これらの理解に努め遵守すると共に、北海道の「ゼロカーボン北海道推進条例」および札幌市の「環境保全行動計画」等行政の取組に協力してまいります。（計画および実績報告を提出済）
- ・また「電子マニフェスト」を導入し事務処理の効率化とコンプライアンス上のリスク低減を図ります。

(4) 廃棄物の削減及びリサイクルを促進し、省資源・省エネルギー化を図り、またそれら環境に配慮した事業活動に取り組むことで地球温暖化、資源枯渇、環境汚染の低減及び環境保護に努めます。

- ・電力、各種燃料の使用量の削減
CO2削減への取組みと共にエネルギー価格の上昇に伴う経費の増加に対し、これまで以上にムダがないかチェックして行きます。空調の温度設定、ホースの接続部からのエア漏れがないか等、身近なところから見直していきます。
- ・これまで通り廃棄物の適切な分別により廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでまいります。特に廃プラスチックでは体積の圧縮を心掛け、排出量の削減に繋がります。



(5) 当社の事業活動を継続する上で、発生しうる納期遅延・クレームに起因するエネルギーロスの削減を推進します。

- ・サービス部品部を中心にこれまで通り社内資格の取得に向けた研修や技術講習を企画、実施する事により技術力・診断スキルの向上に努めます。同様にパーツの検索スキルの向上により、誤発注による不動部品の発生を防止します。

(6) 全従業員に対し、この環境経営方針を周知し、環境意識向上のため、啓蒙活動を継続的にを行います。

- ・自動車は、製造～販売～走行等のライフサイクル全体で温室効果ガスを多く排出しています。我々北海道スバルもこうした自動車産業の一翼を担っており、お客様との接触を通じ(株)SUBARUをはじめとする自動車業界の取組やエコカーの販売および環境負荷の低減に繋がるサービスを提供する事により、温室効果ガスの排出削減に貢献する事ができると考えます。年間の取組の結果や「環境経営レポート」について、店舗の環境責任者と検討する際に「我々の本業への取組そのものが、温室効果ガスおよび廃棄物の削減に直結している」ことを改めて共有致します。

2. 数値目標

上記 1 項の“環境経営方針に沿った取組み”と共に、2022 年度の各項目の実績に対しそれぞれ 1 %削減を数値目標として取組みます。

項目	単位	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	
電気使用量	kWh	2,068,836	前年度実績の 1 %減	前年度実績の 1 %減	
燃料	ガソリン	L			239,393
	灯油	L			154,747
	軽油	L			98,167
	LPG	kg			45,694
	都市ガス	m ³			399,468
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,381,639			
水使用量	m ³	15,269			
廃棄物／一廃・産廃	t	17,850			
紙（コピー紙）使用量	kg	18,327			

①電気使用量削減、②燃料使用量削減、③水使用量削減、④廃棄物量削減、⑤紙使用量削減

3. 各店舗の取り組み

各店舗における具体的な取り組み内容は以下の通りです。

本 社	
本 社	<ul style="list-style-type: none"> ・集計した各種エネルギーや廃棄物の実績をタイムリーに店舗へ展開。 ・各部門の業務が CO2 の削減、環境負荷の低減に繋がっている事を社員の一人一人に意識してもらう ・店舗の削減の取り組み事例を展開する

営業第 2 部（道央）エリア	
札幌西店 BP 本社	<p>テーマ「つけっぱなし、出しっぱなし、禁止！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気、水道、灯油、ガソリン、軽油の節約。 ・1ヶ月前早期予約から精度の高い工程管理をすることで 時間内作業のスピードを上げる事で残業時間の短縮を図ります。 ・前年比 1%の削減を目指します。
白石店・BP 白石 法人営業課	<p>対前年 1%削減を目標に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気、水道の出しっぱなしを撲滅する。 ・燃料費の削減（不要なアイドリングを減らす） ・残業時間の削減（工程管理の徹底）
月寒店	<ol style="list-style-type: none"> ①空調設定温度の適正化（冷/暖房：24/26→26/24、各 2℃） ②不要照明の消灯および点灯時間短縮（従業員共用スペースの照明管理、20 時までの退勤） ③ガソリン使用量削減（サービス代車返却時のガソリン補給依頼） ④灯油使用量削減（洗車有無確認の徹底・必要の無い洗車を無くす） ⑤工場内消耗品・事務用品・備品の削減（品目・点数精査）
札幌北店	<ul style="list-style-type: none"> ・前年比- 1%削減を目指し営業費の圧縮 ・代車使用の際、ガソリン給油お願いの徹底により燃料費削減 ・過度な暖房・冷房を控え、こまめに調節しガス代・電気代削減
札幌南店	<p>化石燃料が値上がりしている中、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量を、こまめな照明の ON-OFF や残業時間の削減で金額にして昨年と同等とする。 ・ガスの使用量を、エアコンの電源を出社後に入れることにより金額にして昨年度と同等とする。 ・お客様への最適な提案で、整備不良からくる環境負荷をなくしていく。
羊ヶ丘通清田店	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン排出量低減のため、代車ガソリン満タン貸出の継続。 ・水道光熱費削減のため、残業時間の短縮。 ・よけいな部品と時間を使わないよう、無償整備削減。 ・事故を減らし部品交換を削減するために、アイサイト搭載のスバル車の拡販。
部品センター	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内倉庫棚の整理、間違いやすい部品にアラートを付け注意喚起することで誤出荷を減らし、余計な輸送を避ける。 ・店舗部品発注の精度を上げる働きかけ、間違いによる返品・廃棄を減らし効率を上げる。

厚別店	<ul style="list-style-type: none"> ・時間意識をし、作業効率を高め残業時間削減による水道光熱費の抑制。 ・冷暖房温度の適正管理で光熱費前年度比10%削減。 ・エコドライブとルートの効率化で社用車燃料費前年度比10%削減。
カースポット厚別	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな空調や電灯の管理消灯作業を継続し、残業の縮小（CA1名あたり月平均15時間以内）を目指す ・ペーパーレス化を加速させ、紙ごみ・シュレッダーなどの廃棄物の縮小を目指す
札幌東店	<p>『営業時間内のみ空調使用』（時間外は原則電源OFF）</p> <p>『さらなるアイサイト普及により、交通事故0を目指し、環境保護に貢献する』</p> <p>『ゴミは最小限に！極力圧縮して容量を下げよう』</p>
新千歳店 カースポット新千歳 新千歳PDI重整 備センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別を徹底し、資源を有効活用する。 ・使わない電気は小まめに消し、資源の無駄遣いを防ぐと共に経費を削減することで利益を出しやすくする。 ・スケールメリットを生かしたエネルギー節減として各施設の冷暖房管理の徹底で無駄を省く。 ・業務使用ガソリンの量が減らせる環境にやさしい安全運転の励行。
小樽店	<ul style="list-style-type: none"> ・点検パック加入を推奨し、定期的な点検入庫によりグッドコンディションを保ち、エコドライブに寄与していく ・アイサイト搭載車拡販し、事故減少による修理部品削減 ・残業時間削減 ・5S活動 ・光熱費削減、不要電気消灯、冷暖房の温度管理の徹底 ・ペーパーレス化へ紙（コピー用紙等）の使用量減
岩見沢店	<p>事業活動による環境負荷低減のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイサイト/e-BOXER車の販売促進 ・点検パックの付保率向上並びに入庫促進による予防整備と付加価値提案 ・無駄な残業の抑制とガソリン使用量の適正化
G-PARK 札幌	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房機のフィルター等の清掃を行なって効率低下を抑える。 ・冷暖房時の設定温度を控え目にしつつ、ドア開閉をしっかり行なって冷暖気の流出を防ぎ、また外気温が落ち着いた場合は停止させエネルギー消費を抑える。 ・構内の照明で消しても問題ないエリアを検証し消灯へ繋げる。 ・毎日のミーティング実施で活動予定を確認・共有し、業務の効率化を図って時間短縮と移動時の使用燃料を抑え、残業時間短縮にも繋げる。 ・各種資料等はデータでの確認・保存、紙への出力はデータ状態での確認をしっかり行って無駄を省き、紙の消費を抑える。

営業第一部（道北）エリア

旭川北彩都店	<ul style="list-style-type: none"> ・節電・節水に対しスタッフ全員が自分事として意識を高く持ち業務に当たる ・作業の効率化平準化に取り組み、残業削減に努める ・無償修理を減らす為、ダブルチェック等防止作業を確実に実行 ・構内事故防止ルールを徹底して守り、事故発生を防ぐ ・スタッフ全員がエコドライブとセーフティドライブの意識を高く持ち励行する
--------	---

G-PARK 旭川	<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフの作業効率を上げ、残業の低減に努め各エネルギーを最小限度に収める ・事務所の電気照明、構内や看板の照明はタイマーによる細かい調整により節電を心がける
名寄店	<ul style="list-style-type: none"> ・各事務所、工場のアコン、暖房の細かい調整でも節電を図る ・無駄な印刷によるコピー用紙の削減、サーバーの活用で共有化、印刷物の低減 ・安全運転の模範となるよう意識し、エコ運転により燃料費を節約する
北見店	<ul style="list-style-type: none"> ・営業費削減活動を実施（1%削減） ・電気、水道の出しっぱなしを撲滅する。 ・燃料費削減（燃料高騰によりアイドリング時間等を減らす）。
滝川店	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の洗車時細まめに止水し、節水に努める ・冷暖房を細まめに調整し、環境負荷低減を図る。（昼休み消灯・各場所の確認をしっかりとる） ・燃料費削減（急の付く操作をせずエコドライブに努める） ・一般廃棄物の適正な管理

営業第三部（道南）エリア

室蘭店	<p>各種設備の性能・能力を把握し適正な使用。 電力、ガス、水道、灯油等無駄をなくす意識をつける 残業の適正、管理 再修理、無償修理の削減 油脂類、廃棄物、排水等の使用適正化</p>
苫小牧店	<ol style="list-style-type: none"> 1、ガソリン代が高騰している中、社用車の燃料使用量の検証を行い納車、引取りの見直しを推進していく。 2、電気、アコン等のこまめな管理を行う。 3、資料のペーパーレス化
函館北浜店 BPセンター北浜	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員が水道光熱費の節約意識向上による適正な使用 ・燃料費の適正利用の管理とエコドライブ実践 ・再修理・再入庫を減らし工数や残業の削減 ・事務用品の適正な発注と在庫管理、不要なコピーを行わない。
函館神山店	<ul style="list-style-type: none"> ・節水、節電を意識し削減に取り組む ・燃料使用量管理の徹底 ・備品など物を大切に使用する

【9】 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営方針の基本理念である事業活動を行うことによる環境保全や地球の環境の負荷低減を推進するにあたり、以下の項目について重点的に取り組むよう指示をした。

- ①各従業員が行動した結果がエコアクション21の結果でもあるので、従業員の時間のマネジメントはとても重要な項目である。正しく管理するために従業員の就業中の行動と必要労働時間の把握、それによる無駄のない働き方を管理者・従業員が一体となって構築・実施すること。

②使用している各エネルギーについて、ただ削減するのではなく、事業活動に必要な範囲を守った上で、無駄部分の把握と削減が大切である。「正しい節約」の実践を管理者・従業員と共有すること。

環境方針・環境目標・推進体制及び環境経営システムの変更の必要性については、以下の通りである。

- ・環境方針の変更の必要性：なし
- ・環境目標の変更の必要性：なし
- ・推進体制及び環境経営システムの変更の必要性：なし